

3

第4章 武家政権の展開と世界の動き

武士による全国支配の完成

学習1 幕藩体制の始まり

- 豊臣秀吉の死後、関東に領地を持つ徳川家康が勢力を拡大しました。1600年に家康は、豊臣氏の政権を守ろうとする石田三成らの大名を関ヶ原の戦いで破り、全国支配の実権を手に入れました。
- 1603年、朝廷から征夷大將軍に任じられた家康は、江戸(東京都)に幕府を開き、1615年、大阪城の豊臣氏を滅ぼしました(大阪の陣)。徳川氏が支配する江戸幕府は、およそ260年にわたる戦乱のない平和な世を築きました。この時代を江戸時代といいます。
- 幕府が直接支配する直轄地を幕領といいます。幕府は、全国のおよそ4分の1の領地と、京都、大阪、長崎などの重要な都市や、重要な鉱山、港なども直轄地としました。幕領以外の土地は、將軍の家来である旗本・御家人に与えられました。
- 將軍から1万石以上の領地を与えられた武士を大名といいます。大名の領地やその支配のしくみを藩といいます。幕府と藩が全国の土地と人々を支配するしくみを幕藩体制といいます。
- 幕府は大名を親藩、譜代大名、外様大名に分け配置しました。
- 幕府は、大名を統制するために武家諸法度を定め、許可なく築城や結婚することを規制しました。3代將軍徳川家光は、参勤交代の制度を定め、大名は1年おきに領地と江戸を往復することになりました。江戸住まいや往復にかかる費用が、各藩の財政を圧迫しました。
- 京都所司代を置いて朝廷を監視し、禁中並公家諸法度を定めて、天皇や公家を統制しました。

用語 *親藩…徳川氏の一族。そのうち、尾張・紀伊・水戸の徳川氏は御三家とよばれ重んじられた。

*譜代大名…関ヶ原の戦い以前から徳川氏の家臣で、重要な場所に領地を持ち、幕府の要職についた。

*外様大名…関ヶ原の戦いのころから徳川氏に従った家臣で、江戸から遠い地域に配置された。

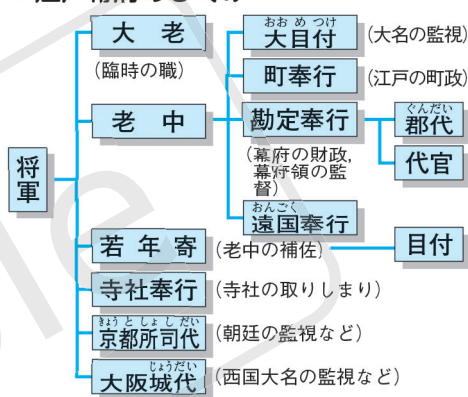
学習2 朱印船貿易から貿易統制へ

- 家康は貿易の発展に努めました。外国と貿易する大名や豪商に渡航を許可する朱印状という証書を発行し、この証書を持った貿易船(朱印船)の保護を東南アジアの国々に求めました。これを朱印船貿易といいます。朱印船貿易での輸入品は主に生糸や絹織物な

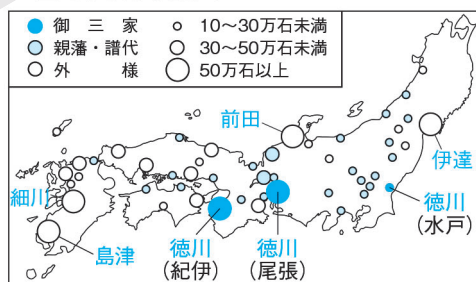
▼徳川家康

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼江戸幕府のしくみ



▼主な大名の配置



▼武家諸法度

- 文武弓馬の道にひたすらはげむようにしなさい。
 - 城は、たとえ修理であっても必ず幕府に報告すること。まして新しく城を築くようなことはしてはいけない。
 - 大名は、毎年4月中に江戸へ参勤すること。
 - 大名は勝手に結婚してはいけない。
- (一部要約)

ど、輸出品は主に銀でした。

- 多くの日本の商人が東南アジア各地に進出し、そこに住みついた日本人によって日本町にほんまちがつけられました。
- 家康は、初めは貿易の利益を優先したため、キリスト教を厳しく取り締まることはしませんでした。しかし、その後急速に普及したキリスト教に危機感を覚え、1612年に幕領で、1613年に全国でキリスト教を禁止し、貿易も制限しました。幕府は、キリシタンを見つけ出すために、キリストや聖母マリアの像などを踏ませる絵踏えふみを行いました。
- 1637年、島原しまばら(長崎県)と天草あまくさ(熊本県)のキリスト教徒が、天草四郎しろう(益田時貞ますだときさだ)という少年を大将にして、重い年貢の取り立てや、厳しいキリスト教の弾圧に抵抗して一揆を起しました(島原・天草一揆)。幕府は大軍を送り、これを鎮しずめました。
- 一揆のあと、領民が仏教徒であることを証明させる宗門改めが強化されました。

学習3 四つに絞られた貿易の窓口

- 禁教、貿易統制などの政策は鎖国さこくとよばれています。しかし、長崎つしま・対馬たいま(長崎県)・薩摩さつま(鹿児島県)・松前まつまえ(北海道)では外交や貿易が行われていました。
- 幕府は、1639年にポルトガル船の来航を禁止し、1641年に平戸にあったオランダ商館を長崎の出島でじまに移しました。こうして、キリスト教の布教にかかわらなかったオランダと中国の船だけが長崎で貿易を許されることになりました。幕府はオランダにオランダ風説書ふうせつがきを提出させ、海外の情報を独占しようとしていました。
- 中国では明に代わって、女真族じょしんによる清しんが成立しました。
- 朝鮮との国交は、豊臣秀吉の朝鮮侵略後にとだえていましたが、対馬藩たいまの宗氏そうの仲立ちにより国交が回復し、日本の将軍の代わりごとに、朝鮮通信使ちようせんつうしんしとよばれる使節が江戸に派遣されました。

学習4 琉球王国とアイヌの人々への支配

- 独立国であった琉球王国りゅうきゅう(沖縄県)は、17世紀初めに薩摩藩に征服されましたが、琉球は、明や清に朝貢し、貿易を行いました。また、将軍が代わるごとに慶賀使けいがしを、琉球王が代わるごとに謝恩使しゃおんしを、江戸に派遣しました。
- 蝦夷地えぞ(北海道)の多くの土地にはアイヌの人々が暮らし、渡島半島おしまで暮らす松前藩まつまえの和人と、貿易を行っていました。松前藩が不正な取引を強いたので、1669年にシャクシャインを指導者として松前藩との戦いを起しました。

▼踏絵

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼絵踏の様子

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼鎖国へのあゆみ

家康・秀忠	1613	全国でキリスト教を禁止
	1614	宣教師を国外に追放
家光	1624	スペイン船の来航を禁止
	1635	日本人の帰国・海外渡航を禁止
	1637	島原・天草一揆が起こる
	1639	ポルトガル船の来航を禁止
	1641	平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す

▼出島

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

■ 確認問題 ■

1 ●年表で時代の流れをつかもう● ()にあてはまる語を書きなさい。

時代	世紀	年代	できごと	中国	
(①) 時代	17	1600	(②)が関ヶ原の戦いで豊臣方を破る	明	① [] []
		1603	(②)が征夷大將軍となり、江戸幕府を開く 朱印船貿易がさかんになる		② [] []
		1609	(③)藩が琉球を征服する		③ [] []
		1612	幕府はキリスト教を禁止する禁教令を幕府領に出す		④ [] []
		1615	大阪の陣で豊臣氏がほろびる		⑤ [] []
		1624	スペイン船の来航を禁止する		⑥ [] []
		1635	日本人の海外渡航を禁止する		⑦ [] []
		1637	天草四郎(益田時貞)を大将に(⑤)一揆が起こる		⑧ [] []
		1639	(⑥)船の来航を禁止する		
		1641	オランダ商館を長崎の(⑦)に移す		
		1669	蝦夷地で(⑧)を指導者として戦いが起こる	清	

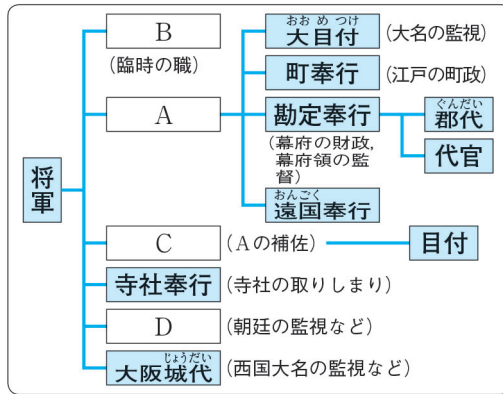
2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) 徳川家康が征夷大將軍に任じられて開いた幕府を何というか。 [] 幕府 []
- (2) 幕府が直接支配する直轄地を何というか。 [] []
- (3) 將軍と大名が主従の関係を結び、幕府と藩が全国の土地と人々を支配するしくみを何というか。 [] 体制 []
- (4) 大名を1年おきに江戸と領地に住ませ、その間を往復させたことを何というか。 [] []
- (5) 幕府から与えられた、日本の商船であることを証明する、渡航を許可する証書を持つ船によって行われた貿易を何というか。 [] 貿易 []
- (6) (5)の貿易が活発になったことで、東南アジア各地に日本人が移り住んでつくられた町を何というか。 [] 町 []
- (7) 禁教や貿易統制、海外渡航の禁止などが行われた国の状態を漢字2字で何というか。 [] []
- (8) 徳川家光のときから、將軍の代わりごとに派遣された、朝鮮の使節を何というか。 [] []
- (9) 漢民族の明に代わって、中国を支配した北方の女真族の国を何というか。 [] []

基本問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 江戸幕府の政治全体をまとめるAの役職は何か。
- (2) Aの上に、必要に応じて置かれたBの役職は何か。
- (3) Aを補佐するCの役職は何か。
- (4) 朝廷を監視するために、京都に置かれたDの役職は何か。
- (5) 大名が支配する領域としくみを何とよぶか。
- (6) 大名を統制するために、幕府が定めた法律を何とよぶか。



1
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

2 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 鎖国後も、幕府が貿易を認めた。右の資料の鳥の名を書きなさい。
- (2) (1)は、どこの都市にあったか。
- (3) (1)に商館を置き、貿易を行っていたヨーロッパの国はどこか。
- (4) (3)のほかに、貿易を許されたアジアの国はどこか。
- (5) 鎖国が完成したときの将軍はだれか。
- (6) 国交が回復した朝鮮から来日した使節を何とよぶか。
- (7) 朝鮮との貿易を行っていた藩の名を、次のア～エから選びなさい。
ア 鳥取藩 イ 対馬藩 ウ 松前藩 エ 加賀藩
- (8) 江戸時代に、琉球王国を征服した藩を、次のア～エから選びなさい。
ア 薩摩藩 イ 富山藩 ウ 長州藩 エ 岡山藩
- (9) 江戸時代、北海道は何とよばれていたか。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

2
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)

3 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 右の資料は何をしている様子をえがいたものか。次のア～ウから選びなさい。
ア 納入する年貢の量を相談している。
イ 罪を犯した人の責任を追及している。
ウ キリシタンでないことを証明させている。
- (2) (1)のことを何とよぶか。
- (3) このころ、九州地方で起きた一揆を何とよぶか。
- (4) (3)の大將であった15歳の少年の名を書きなさい。

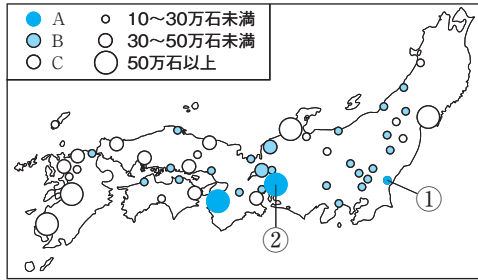
著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

3
(1)
(2)
(3)
(4)

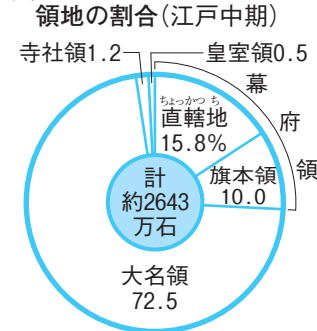
練習問題

1 次の文と資料を見て、あとの問いに答えなさい。

資料 I



資料 II



(「日本社会経済史概要」)

徳川家康は、秀吉の死後、豊臣氏の政権を守ろうとする()ら**を破り**、1603年に征夷大将軍に任じられて、江戸幕府を開いた。将軍職を子の秀忠にゆずり、豊臣氏を滅ぼして徳川氏の支配を確立した。幕府にとって重要な関東・近畿には、徳川一族の大名や、古くからの家臣である大名を置いた。

- (1) 文中の()にあてはまる人名を書きなさい。
- (2) 下線部①の戦いを何というか。
- (3) 下線部②の戦いを何というか。
- (4) 下線部③を何というか。
- (5) 資料 I の A は将軍の跡継ぎを決めるのに重要な藩である。資料 I の A の大名をまとめて何というか。
- (6) 資料 I の A の大名のうち、①、②の藩を何というか。当時の地名で答えなさい。
- (7) 下線部④は、資料 I の B の大名である。この大名を何というか。
- (8) 資料 I の C の大名を何というか。
- (9) **表現力** (8)はどのような場所に配置されたか。資料 I を参考に簡潔に答えなさい。
- (10) 資料 II のグラフから、幕府領の石高を計算しなさい。

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	①
(7)	②
(8)	
(9)	
(10)	

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代に大名とよばれたのは将軍から(①)石以上の領地を与えられた武士で、将軍直属の家臣もいた。大名は家臣を従え、領地の農民や町人を支配した。幕府は武家諸法度を制定して大名を統制するとともに、皇室や公家も監視した。また、3代将軍(②)のときに、参勤交代の制度をつくり、大名への支配を強めた。

- (1) 文中の①にあてはまる数字を、次のア～オから選びなさい。
ア 1万 イ 10万 ウ 60 エ 100 オ 260
- (2) 文中の②にあてはまる人名を書きなさい。
- (3) 下線部③が支配する領域を何というか。
- (4) 下線部④を何というか。1つ書きなさい。
- (5) 下線部⑤のために定めた法律を何というか。
- (6) **表現力** 下線部⑥はどのような制度か、簡潔に説明しなさい。
- (7) 下線部⑦で、大名の妻や子が住まわされたところはどこか。当時の地名で答えなさい。

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	

③ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

幕府が^①大商人の海外渡航を許し、貿易をすすめると、西日本の大名や、大商人は東南アジアの各地に出かけていった。幕府は貿易の利益のためにキリスト教を黙認した。しかし、1637年に九州で起きた大規模な一揆をきっかけに禁教の方向に進んでいった。1639年、()船の来航を禁止した幕府は、2年後、平戸のオランダ商館を^②長崎に移して、^③オランダと中国の商船のみに^④貿易を許可した。こうして、^⑤幕府が貿易を統制し、日本人の出入国を禁止した政策が完成した。

^⑥朝鮮との関係は悪化していたが、徳川家康が、^⑦宗氏に交渉を命じて、国交が回復された。国交回復の仲立ちをつとめた宗氏は、朝鮮との貿易を担当することが認められた。琉球からは、^⑧将軍の代わりごとに外交使節がおとずれるようになり、文化交流もはかられた。

□(1) 文中の()にあてはまる国を、次のア～エ から選びなさい。

- ア イギリス イ スペイン
ウ ポルトガル エ フランス

□(2) 地図Ⅰ中の——は、江戸時代のある貿易船の航路を示している。この貿易船を何というか。

□(3) 下線部①の貿易を奨励し、渡航許可証を与えた将軍はだれか。

□(4) 地図Ⅰ中の●は日本人が住んでいた町である。このうち、日本人によってつくられた町を何というか。

□(5) 下線部②で、商館が置かれた人工の島を何というか。

□(6) 下線部③で、幕府が毎年、オランダ商館長から提出させた書類を何というか。

□(7) **表現力** 下線部③が貿易を許可された理由を、簡潔に書きなさい。

□(8) 下線部④で、長崎貿易で主に輸入されたものを、次のア～オから2つ選びなさい。

- ア 生糸 イ 銀 ウ 銅
エ 絹織物 オ 海産物

□(9) 下線部⑤は、江戸時代後半に何とよばれたか。漢字2字で書きなさい。

□(10) **表現力** 下線部⑥の原因は何か。簡潔に書きなさい。

□(11) 下線部⑦が支配した藩はどこか。

□(12) 地図Ⅱ中のAで栄えていた王国を何というか。

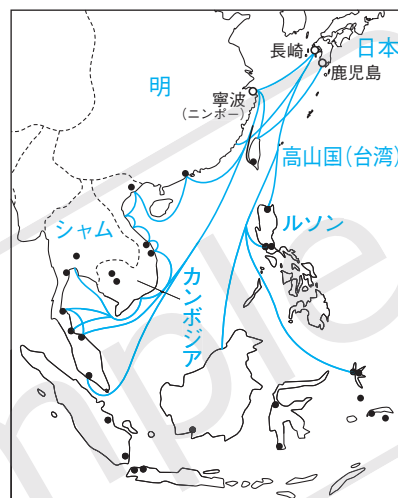
□(13) 地図Ⅱ中のAを征服し、農民から年貢を取り立てた藩はどこか。

□(14) 下線部⑧で、地図Ⅱ中のAから、将軍が代わるごとに、江戸に派遣された使節を何というか。次のア～ウから選びなさい。

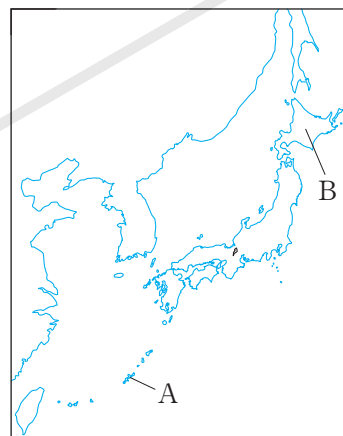
- ア 通信使 イ 慶賀使 ウ 謝恩使

□(15) 地図Ⅱ中のBの地域と交易を行っていた藩を何というか。

地図Ⅰ



地図Ⅱ



③

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	